



## 厚沢部町河川資源保護振興会

【厚沢部町】

### はじまりは？

昭和47年に厚沢部川の自然保全とそこに棲む生物の保護のために有志が集まり設立しました。

厚沢部川の豊かな自然と水辺環境を活かし、子供たちが水遊びを通して郷土の自然を学び、体験できる場として、様々な自然体験型学習や啓蒙活動を行っています。

また、地域住民が親しみ、憩える水辺空間の実現と多様・多様な生命のゆりかごとしての厚沢部川の大切な役割を損なうことなく、人と自然が共生する水辺空間を実現するため、厚沢部川に生息するカワヤツメ、アユをはじめとする水産資源の保護・増殖に努め、地域の貴重な資源として、町の特産品化、観光資源化を図り、地域の活性化に寄与することを目的に活動しています。



アユを放流する地元小学生の様子

### おもな活動



地元小学生のカワヤツメの人工授精体験の様子

設立当初から様々な活動を進めてきました。現在は、全道的に捕獲量が激減しているカワヤツメの人工孵化と放流事業に取り組んでいます。また、地元小学生を対象にカワヤツメの人工授精体験、放流体験を一連で行う全国的にも稀な取り組みを行っています。

アユによる地域おこしを目指し、稚アユの放流事業を行うとともに、地元小学生を対象とした放流体験やアユ釣り体験などを行い、子供たちが川に親しめる活動も行っています。

河川美化活動は20年以上継続しており、土地改良区等と連携して河川敷の草刈作業やごみ拾いを行っています。

川と人のつながりを考えてもらうためのきっかけとなるように町内の各種イベントに参加し当会が養殖したアユの販売や、厚沢部川に生息する生き物展示を行っています。

### ここが自慢

#### 【鮎おどる厚沢部川】

地域の財産・文化である「鮎おどる厚沢部川」を守り、さらにアユによる町の活性化に努めています。昭和47年から40年以上続く活動であり、子供たちをはじめ広く地域住民から親しまれ、町政功労賞なども受賞し地元でも高い評価を受けています。

町内のイベントでは、鮎の塩焼きの販売に大勢の住民が訪れ、食を通じた地域住民の交流の活性化にも効果をあげています。

今後は、鮎の商品化に向けた取り組みを行い、地域の特産物となるように活動を広げたいと考えています。



町内のイベントでのアユの塩焼きの販売の様子

### データ

■代表者:坂本 和晃さん／設立:1972年／会員:59名

■連絡先:檜山郡厚沢部町緑町72-1 厚沢部町観光協会内

■電話:0139-64-3738

■FAX:0139-56-1020

■HP:<http://www5.ocn.ne.jp/~ayusuki/701.html>